



第 47 回 ー 第 2 章 「積極思考」をする者は山をも動かす(その 3)ー

●求められるのはあなた個人の強い信念だけである

信念には集団的な信念もあれば、非常に個人的な信念もある。平和と自由を守るために団結する国民のような集団的な信念もあるが、基本的に信念は個人（ひとりひとり）のものである。

米国の大統領の場合、最終責任者であり、重大な意思決定は全く大統領個人に委ねられており、極めて苛酷な立場にある。大統領は最終責任者であり、責任を他へ回すことはできない。たった一人で打席に立っている、一人対全世界の対決である。・・・これは米国大統領だけの問題ではない。我々も、重要な意思決定は誰か他に回すことはできないのである。

■あなたは孤独なバッターなのだ・・・自分は何をすればいいのだろうか？あなた一人が決めなくてはならない。誰もあなたに手を貸してはくれない。

■求められるのはあなた一人の強い信念だけである・・・誰もあなたに代わって意思決定をしてくれない。

■あなたが決めるのだ・・・何を信じればよいのか、何をすればよいのか、どうすればよいのか。

あなたは打席に立っているのだ。逃げるわけには行かない。このゲームから退くことはできないのだ。

勇気があれば容易く完破出来るのに、勇気がないために、前進できない人は多い。

正しい信念は勇気を倍増してくれる。

信じることだ。

思いっきりバットを振ろう。信じて怯まない人間になろうではないか。

そうすれば、あなたはより良き道を進むことになるであろう。

最後にあなたに残される積極的な選択はただ一つ・・・信じることだ。

その他の選択はすべて消極に通じる。

かつて曖昧な決心から、積極的な局面が拓けたためしはないのだ。

●何事も最前列の席を確保しよう心がける

私たちはつい、後ろの方に座りたがる。一番前なんてとんでもない。目につくじゃないか。多くの人々の間に埋もれて、あたりさわりなくその場をやりすごすことが多いのではないか？

積極的になるという信念を持つことだ。確信を持って売り込むことだ。

さもないと、ドアは永遠に閉ざされ、いろいろな人生を楽しむことができなくなる。

引っ込み思案をという行動パターンを克服するにはどうすればよいのか。

答えは簡単である。もっと自分自身について自信をもちさえすればよいのだ。

消極的な行動パターンに対して、自信に満ちた攻勢をかけることを決心しようではないか。

一番良い席は信念を持った人々のために用意されているのだ、今こそ行動の時、逃してはならない。

積極的な人には多くのチャンスが訪れる。積極的にものをみつめ、そして進むのだ、

そうすれば、道はきっと拓けてくる。

＜MIKO＞

📖 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より